

令和5年度 第51回 大学院セミナー

令和5年10月11日

分野名 Area of Research (責任者名)(内線)	小児歯科学 分野 責任者名(田上 直美) 内線(7673)
演題 Title	転写因子による歯原性上皮細胞の分化制御
講師等 Presenter	九州大学大学院 歯学研究院 小児口腔医学 教授 福本 敏 先生
概要 Abstract	<p>歯の発生には多くの転写因子群が作用し、細胞の増殖から形態形成までコントロールされている。我々は、包括的な遺伝子スクリーニングから Basic-helix-loop-helix タイプの新規転写因子 AmeloD と、エナメル芽細胞に発現する Sox21 を同定し、その機能解析を行ってきた。AmeloD 及び Sox21 の遺伝子欠損マウスは、いずれもエナメル質形成不全を呈するが、これら転写因子の歯原性上皮での発現は時期が異なっており、それぞれ独立した機能を有していることが示唆された。AmeloD 欠損マウスは、上皮幹細胞から内エナメル上皮に分化した段階で発現し、E-カドヘリンの発現を制御していることが明らかとなった。一方、Sox21 は、BMP シグナルにおける Smad の発現制御に関わり、上皮細胞の間葉転換 (EMT) の抑制に関与していることが明らかとなった。これら2つの転写因子は、相互に発現制御を行いながら、時期特異的な転写因子の発現制御に寄与していた。本セミナーでは、これら転写因子により歯原上皮の細胞分化メカニズムと、エナメル質形成への役割について紹介する。</p>
開催日時 Date and Time	令和5年 11月 8日(水) 17:30 ~ 19:00
開催方法 Online/Face to face	対面: 歯学部 C 棟 3A
備考 Notes	

- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語 (Japanese)
- 対面 (Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語 (English)
- オンライン (Online)